

KTN 杯 第 21 回長崎県秋季選抜学童軟式野球大会実施要項

1. 主 催 (公財) KTN スポーツ財団 長崎県軟式野球連盟
2. 主 管 長崎市軟式野球連盟
3. 協 賛 ナガセケンコー株式会社
4. 期 日 令和 2 年 11 月 7 日(土)・8(日)
5. 会 場 長崎市総合運動公園かきどまり野球場・かきどまり多目的広場 (2 面)
6. 参加資格 長崎県軟式野球連盟に登録している小学生チーム
7. 参加チーム 前年度優勝チーム 長崎 4 チーム 諫早、大村、東彼杵、佐世保、平戸、県北、
岐、島原、西海、松浦、福江各 1 チーム 計 16 チーム
8. 参加申込み 参加資格のあるチームで、参加を希望するチームは予定の用紙に必要事項を記入の上、所属支部を経由して、**令和 2 年 10 月 21 日(水)** までに主管支部に申込みを完了しておくこと
9. 組合せ抽選会 10 月 25 日(日) 県連役員立会いの下、代理抽選を行う
10. 参 加 料 1 チーム ¥10,000- (大会当日主管支部に納入の事)
11. チーム編成 ①原則として小学生の児童で編成する事 ②1 チームのメンバーは選手 20 名以内とする。
12. 適用規則 2020 年度公認野球規則並びに大会特別規則を適用する
13. 使用球 全日本軟式野球連盟公認ナガセケンコーボール C 号球を使用
14. 開 会 式 新型コロナウイルス感染拡大防止のため今年度は行わない
15. 表 彰 優勝チームには KTN 杯(持ち回り) 及び賞状を準優勝チームには賞状を授与する。
16. その他 (注意事項)
 - ① 選手・監督・コーチは背番号のついたユニホームを着用の事
(背番号は選手 0~99・主将 10・監督 30・コーチ 28~29)
 - ② 登録選手・監督・コーチ以外に責任者・マネージャー・スコアラー・トレーナーがベンチへ入れるが、合わせて 3 名以内とする
 - ③ 練習中でも、選手・監督・コーチ以外はグラウンドに出ない事
 - ④ 打者・走者・次打者及びベースコーチはヘルメットを、捕手は捕手用ヘルメット・マスクプロテクター・レガース及びファールカップを着用の事
 - ⑤ 主催者は試合中の負傷、疾病に関しては応急処置の他一切責任を負わない
 - ⑥ 試合進行上、1 時間 30 分を越えて新しいイニングに入らない(時間優先)
 - ⑦ 5 回以降 7 点差コールドゲームを適用する
 - ⑧ 5 回を終了して降雨・日没等で試合が継続できない場合はコールドゲームとする
 - ⑨ 最終回終了時あるいは 1 時間 20 分を越えて同点の場合、新しいイニングから(無死 1・2 塁・継続打順) 適用し 2 回実施し決着つかない場合は最終回出場者 9 名による抽選にて決着をつける
 - ⑩ 投手起用に関しては全軟連取り決め事項を適用する。
 - ⑪ 当日の天候次第では試合方法を一部変更することがある。

※下記のとおり、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を各チーム講じること。

(1) 自宅・宿泊先での対応（会場到着前の対応）

参加者は、当日の健康状態等により参加の有無を判断するとともに、検温し球場（会場）へ来ること。

(2) 球場(会場)への入場時の注意事項

大会参加者(応援者含む)は、マスク着用で会場に入ること。

チーム代表者は、会場到着後、速やかに「新型コロナウイルス感染症防止に係る健康チェックシート(別紙)（健康状態、連絡先が記されているもの)を大会参加日ごとに大会本部に提出すること。

※発熱、咳、倦怠感などの風邪症状及び味覚嗅を感じない者の参加を認めない。

(3) 試合における留意事項

① オーダー交換

監督1名出席 先攻後攻を決めるじゃんけんの前の握手はしない。

② 試合前・試合後の整列

握手は行わず、大声での挨拶はしない。挨拶終了後は、速やかにベンチに戻る、

③ 試合中のマスク着用

監督、選手など、ベンチに居るときはマスク着用を推奨する。

④ その他留意事項

円陣や密集しての声出しなどの機会、肌が触れ合うハイタッチ等はできるだけ控えること。
ベンチ内では一定間隔を保つよう努力すること。

手洗い、うがい、マスク未着用時は咳エチケットに留意すること。

球場（会場）内における唾、痰を吐く行為を厳禁とする。

応援席では、観客が「密」にならないように、一定の距離を保って観戦するように各チームで応援者に注意喚起を行うこと。また、大声での応援などもできるだけ控えるようにすること。

⑤ 試合間のインターバル

ベンチを入れ替わる際などは、次のチームと重ならないよう、各チームで努めること。

(4) 大会参加等について【重要】

今般の新型コロナウイルス感染対策を踏まえた上での、大会の参加については、各々の置かれている立場・状況等が異なることから、監督、選手、チーム関係者、役員、審判員、保護者（選手が未成年の場合）において、それぞれ個人の責任により判断するものとする。